

資料名	値段	内容	編集・発行
【各種刊行物】			
1 駿河 楠ヶ沢古墳群	2030円	この報告書は、静岡市向敷地に所在する「楠ヶ沢古墳群」の発掘報告書であり、農道の建設に先立つ委託事業や果樹改植に伴う緊急発掘として静岡市教育委員会が実施した調査の成果をまとめたものとなっております。本誌には、楠ヶ沢(くすのきけさわ)古墳群の概要から古墳2号、3号、7号各古墳の実測図と説明まで詳しく記載されています。	静岡市教育委員会 1986年
2 有東榎子遺跡	2030円	静岡市には著名な登呂遺跡や賤機山遺跡をはじめとして数多くの遺跡が存在しており、有東榎子遺跡もその一つです。有東榎子遺跡のある有東地区は、東西南北の幹線道路の整備によって弥生土器や石器が発掘され、静岡市内の弥生時代研究の端緒になっています。本誌は、そんな有東榎子遺跡の調査内容や発掘された土器について詳しくまとめられた一冊となっています。	静岡市教育委員会 1987年
3 有東榎子遺跡Ⅱ	2030円	調査報告としては、有東榎子遺跡の第3次調査報告書にあたります。有東榎子遺跡発掘の更なる調査内容や発掘土器や木片の写真が掲載されており、主に出土遺構や出土遺物について報告されています。静岡市の歴史研究や郷土に対する理解を深めることのできる一冊です。	静岡市教育委員会 1989年
4 登呂遺跡発見50周年記念報告～登呂遺跡を見つめて～	1010円	本書は、弥生時代における日本の稲作形態や建築構成、集落後世についてと、登呂遺跡のシンポジウムや講演、座談会の内容が報告された一冊となっています。第四回にわたる登呂遺跡セミナーの内容も掲載されているため、考古学を中心に登呂遺跡の学術的価値の高さを垣間見ることができます。登呂遺跡を歴史を振り返ることで見つめ直し、今後登呂遺跡はどうなっていくのか考え、学ぶことができる一冊です。	静岡市教育委員会 1995年3月
5 駿府城跡Ⅰ(遺構編)	2030円	静岡市では、昭和63年度の静岡市市制100周年を契機として、駿府城跡の中にある駿府公園を城郭としての歴史的な雰囲気を生かした公園として再整備しました。本書は、静岡市教育委員会が実施した駿府公園の再整備事業に伴う発掘調査を中心にしてその成果を報告書としてまとめたものとなっています。第1章～第5章で構成され、駿府城の立地と環境についてや、調査方法及び経過、そして巽櫓等調査の成果について実測図を織り込みながらわかりやすく報告されています。	静岡市教育委員会 1996年
6 駿府城跡Ⅰ(遺物編)	2030円	本書は、昭和57年実施の児童会館建設に伴う確認調査、昭和61年に実施した巽櫓復元に伴う埋蔵文化財発掘調査と、平成2年～平成7年に実施した駿府公園再整備(第1工区)に伴う埋蔵文化財発掘調査をまとめた駿府城跡の発掘調査報告書です。第1章～第3章で構成され、第1章には駿府公園の巽櫓や本丸堀等の遺物の出土状況についての説明、第2章は遺物の概要として木製品や金属製品についての説明が書かれており、第3章はまとめとなっております。	静岡市教育委員会 1998年
7 甦る賤機山古墳	100円	賤機山古墳は、6世紀後半に造られた有力豪族のお墓と考えられており、巨大な横穴式石室を持つ古墳として、また、金銅製の馬具をはじめとする室・量とともに第一級の副葬品が収められた古墳として、全国的にも著名な文化財です。本誌には、賤機山で発掘された横穴式石室、家形石棺、出土遺物についての説明があり、さらに出土物のカラー写真も掲載されているので、賤機山にはどんな石器や石室があるのかわかりやすく紹介されています。	静岡市教育委員会 1997年
8 静岡市文化財資料館収蔵品 図録	1220円	静岡市文化財資料館は「市民文化の向上と文化財保護思想の普及」を目的に静岡浅間神社境内建設されました。本図録は、静岡市文化財資料館の開館25周年記念事業の一環として作成し、平成12年末の時点で文化財資料館に保管されている各種文化財、歴史資料等を収録してあります。Ⅰ静岡浅間神社所蔵品、Ⅱ静岡市所蔵品、Ⅲ静岡市文化財協会所蔵品、Ⅳ個人所蔵寄託、Ⅴ史跡賤機山古墳出土品に分けて、カラー写真付でわかりやすく説明されています。中には、徳川家康公が着たと言われている腹巻も載っています。	静岡市教育委員会 2001年
9 おかえりなさい駿府の寄木細工～静岡で生まれた木の技と彩りく金子コレクション～	1010円	色とりどりの木材を組み合わせて飾った「寄木細工」の美しさは、工芸美の極致といわれ世界各地で作られてきました。静岡市の寄木細工として駿府系の寄木細工、箱根系の寄木細工、各地の寄木細工、海外の寄木細工の4つのジャンルにわけることができ、それぞれ写真つきで掲載されています。同じ寄木細工でも筆筒やお弁当箱、玩具等種類は豊富であり、細かな模様からもわかる繊細さが美しく感じられます。最後のページには、寄木細工関係の論文が掲載されています。	静岡市教育委員会 2006年

10	ようこそ登呂ムラへ～登呂遺跡の生活復元図鑑～	450円	登呂ムラについて、イラストや写真とともにわかりやすく解説されています。静岡市にある登呂ムラの人々は当時どんな建物に住んでいたのか、周辺にはどんな施設があったのか、ムラにいた人々の生活はどんなものだったのか、どんな道具が使われていたのか等、この本を読めばすべてわかります。静岡市の古代について興味がある方、弥生時代の生活ぶりを想像してみたい方必見！！	静岡市教育委員会 2011年3月31日
11	ケイセイ遺跡－文字資料編－	2340円	この報告書は、静岡市駿河区中田二丁目他で実施されたケイセイ遺跡第10次発掘調査までに出土した墨書土器および木簡の文字資料に関わる報告書です。ケイセイという遺跡名は土器発見地点が「古傾城(コケイセイ)」ということから命名されました。元宮川神明原遺跡や曲金、川合など静岡市の広範囲にわたって調査されています。発掘された土器・木簡についてだけでなく遺跡の図や出土状況などについても詳しく知ることができます。	静岡市教育委員会 2012年
12	久能山誌	3560円	平成22年12月24日に久能山東照宮本殿、石の間、拝殿が国宝に指定されて以降、静岡市は久能山総合調査事業を進めてきました。そこで、久能山には人の手が入っていない自然の植生が残っている事や、古代から中世にかけて存在した久能寺の存在など久能山の歴史手的変遷について把握することができる内容となっています。自然、歴史、建築、民俗、美術等の面から各分野の専門家が総力を結集して著し、まとめた、久能山のすべてを知ることができる集大成です。	静岡市教育委員会 2016年
13	史跡片山廃寺跡 発掘調査報告書(主要遺構調査編)	1010円	史跡片山廃寺跡は、名勝日本平から伸びる有度丘陵の西端で、静岡平野との接点に位置します。本報告書では、片山廃寺跡の立地環境や、片山廃寺跡の伽藍と主要遺構の紹介、主要遺構検出調査について5章構成で報告されています。片山廃寺跡では、これまで50回を超す発掘調査が実施されてきましたが、その成果が十分にまとめられたものは今回初となります。	静岡市教育委員会 2016年
14	史跡片山廃寺跡 発掘調査報告書(遺物編)	1520円	静岡市駿河区大谷、片山に所在する駿河国分寺の可能性のある史跡片山廃寺跡の発掘調査報告書の遺物編です。特に出土瓦を中心に掲載しており、瓦の型式の分析を通して、同廃寺の平城宮との関係や国分寺説について考察した内容を掲載しています。その他、土師器や須恵器、灰釉陶器などの土器・陶器や金属製品の遺物も掲載しています。	静岡市教育委員会 2019年
【民俗文化財紹介小冊子 伝統文化ガイドブック】				
15	小河内のヒヨンドリ(静岡市の伝統文化ガイドブックNo.1)	200円	静岡市的小河内では、正月にヒヨンドリと呼ばれる神事を行っています。ヒヨンドリの由来や伝承を物語る文献は今のところ見出されておらず謎に包まれたままであるが、ヒヨンドリは代々伝えられてきた伝説であり、その伝説とは、昔小河内に住み着いたイセソーホーなる人物が、精巧なまげ物作りの技術を教える代わりにヒヨンドリと呼ばれる火伏せの神事の実施を提案し、併せて雨乞いの樹法も伝授した、というものである。本誌ではヒヨンドリの記録や、その具体的内容、行事の記録等が民族的な意義が小河内というムラと関連付けて書かれています。	静岡市教育委員会 1999年3月31日
16	有東木のギリッカケ(静岡市の伝統文化ガイドブックNo.2)	200円	有東木は、安倍川の上流部、標高550メートルほどのところにある高地集落のことであり、ギリッカケとは一連の正月行事の流れに組み込まれた小正月の子供行事のことで、輪切りにして紐でつないだ一対の木片をギリッカケと呼んでいます。本誌では、有東木のイエとムラの正月行事から、ギリッカケの由来と伝承、方法まで詳しく書かれており、有東木のギリッカケ行事の歴史に触れることができます。	静岡市教育委員会 1999年3月31日
17	送り神～野田平・足久保～(静岡市の伝統文化ガイドブックNo.3)	200円	送り神を行っている地域は静岡市の中でもたくさんあり、同じ送り神でも地域ごとに送り方や用いる道具は異なっています。本誌では、そんな送り神を行っている野田平と足久保の祭りの様子について詳しく書かれており、野田平の章には歴史や送り神の由来、それを支えるムラの組織について、足久保の章には戦後途絶えてしまった送り神が復活した流れや、送り神行事には欠かせない神輿と藁人形について知識を深めることができます。	静岡市教育委員会 2000年3月31日
18	マメタクと水神祭り～玉川の祇園行事～(静岡市の伝統文化ガイドブックNo.5)	200円	マメタクという行事名は、よく働くという意味の「まめったい」が由来であり、子供たちが供物の材料を集める訪問儀礼と神送り祭祀が組み合わさったものです。また、マメタクと水神祭りは川への祈りが込められた行事です。本誌では、そんなマメタクと昔から関わりのある静岡市の腰越という地域の歴史や人々の暮らし、マメタクの行事の様子や中心となる子供たちについて民俗学的に記されています。	静岡市教育委員会 2002年3月31日

19	安倍奥の神楽～有東木・梅ヶ島新田～(静岡市の伝統文化ガイドブックNo.6)	200円	神楽とは、神座(かみくら)、神懸(かみがかり)が語源であり、祭りの場に神を招き、舞を奉納することで邪気を祓い、または豊穡を感謝する伝統芸能です。静岡市では、有東木の神楽が民俗文化財の中の無形文化財として指定されています。神楽は、安倍川流域、大井川流域、瀬戸川流域の山間部に伝承されており、本書では安倍奥・有東木・梅ヶ島新田の神楽について説明されており、同じ神楽でも地域によって舞などが異なっていることがわかります。	静岡市教育委員会 2004年3月31日
20	静岡浅間神社の節分行事(静岡市の伝統文化ガイドブックNo.7)	200円	江戸時代、府中の節分行事は「静岡浅間神社の節分行事」を中心として、盛んに行なわれてきました。静岡浅間神社の節分行事は、特殊神事「節分祭」として、毎年2月3日に行われています。浅間神社の節分行事を特色付けているのは、梅と柳の若い枝を、麻緒で結わえて作った「鬼やら棒」です。他にも、静岡市域における節分行事の諸相として、豆まきや豆占、節分の古風な習俗として注目されているヤイガカシと呼ばれる徐魔の風習、オニオドシと呼ばれる節分の目籠立てについても書かれており、静岡市の節分について学ぶことができます。	静岡市文化財課 2008年3月20日
【民俗文化財紹介小冊子 民俗芸能ビデオガイド】				
21	No.8 藁科川流域の民俗行事	200円	本書は、平成18年度、19年度の2か年をかけ、夏の民俗行事を中心に記録したもので、羽鳥のオカンジャケ、久能尾のナガシダイ、小島のタイナガシ、富厚里のアゲドーロー、坂ノ上のタイマツが収録されています。そこから、地域の人々が一体となって、行事を盛り上げている様子が映し出され、民俗行事の伝承が、地域の暮らしに活力を与えていることがわかります。藁科川流域にはどんな地域があるのか知ることができると共に、それぞれの民族文化について知識を深めることができます。	静岡市文化財課 2009年3月31日
【旧清水市刊行物】				
22	文学に描かれた清水	500円	古来清水地域を描いた文学作品は数多く、地域そのものを描いた作品や、地域の点描、清水を舞台にして物語が展開するものなどがあります。本書では、それらの中から、特に関係の深い有名作家の作品に絞って、古代・中世で7編、近世10編、近現代で13編を選んで文学に描かれた作品や登場する郷土等について記述されています。	清水市教育委員会 2000年8月1日
【旧蒲原町刊行物】				
23	ふるさと蒲原の歴史	500円	二部構成となっており、前半では蒲原にある蒲原城址や宿場など歴史的建造物について、後半には蒲原にある寺社巡りという形で説明されており、様々な寺社の写真が掲載されています。最後に蒲原の歴史が年表となって掲載されており、武田氏や今川氏などの名前が出ており、そこから多くの著名人が蒲原に足を踏み入れていたということがわかります。蒲原に住んでいる方はもちろんのこと、蒲原の歴史について深く知ることができます。	蒲原町教育委員会・蒲原町文化財保護審議会 1987年4月
24	蒲原古代塗	3050円	蒲原古代塗が誕生したのは、今から約150年前の事で、幕末、大正、昭和初期まで地場産業として宿場町蒲原の活性化に貢献したという歴史的事実が残っています。古代塗は、静岡県蒲原町(現静岡市清水区)と高知県高知市のふたつの産地で作られた同じ名称を持つ珍しい漆器です。また、蒲原の古代塗の記録は少なく、創始にかかる伝承もわずかに残されているのみである中、本誌には蒲原古代塗の様々な作品の写真と寸法が詳しく掲載されており、大変貴重な一冊とも言えます。	蒲原町(教育委員会) 1999年7月
25	旧五十嵐邸物語	500円	旧五十嵐歯科医院とは、五十嵐準氏が大正3年(1914)に蒲原に建てた医院併用住宅のことで、平成17年度に国の登録有形文化財に登録されました。なぜ旧五十嵐歯科医院は洋風のデザインになっているのかなど旧五十嵐歯科医院の建築物の特徴や、建てられた当時の様子から修復作業の様子まで様々な情報が書かれています。	静岡市教育委員会 2001年8月
26	清水の文化財	1220円	旧清水市にある文化財が、有形文化財や民俗文化財、記念物についての写真と説明によって紹介されています。この一冊を読むだけで清水市にはさまざまな種類の文化財があることがわかるため、それらから旧清水市の歴史を読み取ることができます。	